



デジタル経済への移行と新たな経済システム

令和 7 年5月20日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

アナログ経済から、デジタル経済への転換は、IT システムが総括する新しい金融システムとグローバルシステムの標準化を与えるものである。

これらは大幅な効率性の向上をその新規システムにおいて実現するものであり、IT 産業などがそれらを新たに提案するものである。

これらは企業において全く新しい現実が未来に存在するという認識を要求するものである。これらは破壊的イノベーションは今日の社会システムの転換がその完全なデジタル社会への転換を模索しているという認識を要求するものである。

これらは勝ち組と負け組の振り分けであり、グローバル基準がそれを決定する。これらはグローバル経済の現実なのである。

これら新しい社会の枠組みに対して、競争原理という企業社会において、これら競争における企業現実の育成は、企業の永続がそれら現実に対して、落伍できないのである。これらデジタル経済という新しい未来は、デジタル社会とともに今日の企業の隆盛と潮流なのである。

これらへの精査は、なにが有用で有効的か、判断することにおいて、現実への理解を求め、企業経営の堅実さや健全性を求めることができるものである。

デジタル化が、完全なエリートたちと社会的弱者の振り分けを得ることは現実なのである。それらへ正しい社会システムの育成の必要性などは政治における正しい理解であるはずである。

これらは正しい判断を人々が要求されるものであり、先端性への追従が必ずしも肯定されるものではないのである。

これらライフラインを維持する経済の必要性は、過去においても未来においても不変なのである。